10代のための読書情報

TC ティーンズコーナー 通信

No.121
2025年6月号

春日井市図書館

ご紹介する本は、
特に記載がない限り、図書館３階
ティーンズコーナー所蔵です

新着図書
ピックアップ！

『架空世界図鑑』　玄光社　　726.5/カ/24

10名のクリエイターによって、細部まで作りこまれた空想の世界を案内するイラストガイドブック。

私たちが暮らす世界とは違う世界ですが、どこか懐かしく、どこかにあるかも？と思わせてくれる風景がたくさんあります。イラストを見ながら、魅力にあふれた不思議な架空世界の旅を楽しんでください。

新着図書情報

大阪幻想作品集	東京幻想/著	13歳から挑むフロンティア思考	宮下　芳明/著
架空世界図鑑	玄光社/編	どうして「体育嫌い」なんだろう	井谷　恵子/著
毎日つかえる子どもの権利	甲斐田　万智子/著	ＳＮＳから心をまもる本	小木曽　健/監修
スッキリ！がってん！ 超音波の本	土屋　隆生/編著	どっち？ラスト1行の四字熟語	たから　しげる/著
読んで、感じて！こてんみゅーじあむ１～５巻	根来　麻子/編著	死神短歌	神戸　遙真/著
見えなくても王手	佐川　光晴/著	セミの歌、きみに届け	張　之路/作
オリオンは静かに詠う	村崎　なぎこ/著	願わくば海の底で	額賀　澪/著
失うことは永遠にない	福田　果歩/著	グッナイ・ナタリー・クローバー	須藤　アンナ/著
路、爆ぜる	増島　拓哉/著	自分ゴトとして考える難民問題	日下部　尚徳/著
声に出せずに叫んでる	朝霧　咲/著	まるっと中学校知っておきたい中学生活のヒント	藤川　大祐/監修
異世界落語　1～7巻	朱雀　新吾/著	ＡＩに書けない文章を書く	前田　安正/著
ぼくたちはＣｈａｔＧＰＴをどう使うか	東大カルペ・ディエム/著	あの子の隣で待つ春は	上田　聡子/作
図解でわかる14歳からの自分を助ける心理学	社会応援ネットワーク/著	あの子を自由にするために	アン・クレア・レゾット/作

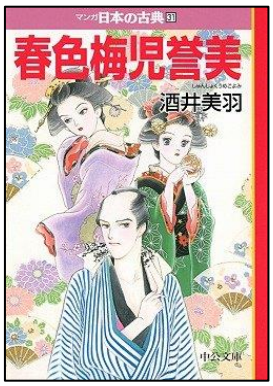
テーマ
江戸時代

江戸時代は江戸に幕府が開かれてから大政奉還までの約265年間。大政奉還は、今から150年以上も前のことです。そんな時代を感じられる本を読んでみませんか。

『マンガ日本の古典31　春色梅児誉美』

為永　春永/原作　酒井　美羽/著　中央公論新社

B726.1/マ/18－31



遊郭唐琴屋の婿養子である丹次郎は、唐琴屋の借金を番頭たちに背負わされ、逃亡生活を強いられます。

彼に想いをよせる米八とお長は、彼を助けるために懸命に働きます。自らの意思で行動する二人の生き方は、江戸時代の女性読者に羨望と共感を呼びました。

丹次郎をめぐり、二人が繰り広げる恋の意気地と達引は現代の私たちも共感できます。

『２時間でわかる浮世絵の本』

堀口　茉純/監修　自由国民社

721.8/ニ/24　味美

浮世絵は、庶民の生活や楽しみを絵にした物で、肉筆画と版画があります。

版画は安価で「絵師」「彫師」「摺師」の技術と「版元」のプロデュース力によって人気になりました。

庶民は浮世絵でブロマイドや団扇を作って推し活をし、ゴッホやモネは浮世絵の収集家で、彼らの作品は浮世絵から多大な影響を受けています。

『江戸の家計簿』

磯田　道史/監修　宝島社

210.5/エ/24　高蔵寺

ドラマや時代小説でおなじみの江戸時代。徳川将軍から町人や農民まで、人々の暮らしは実際にはどんなものだったのでしょう。

現代とは貨幣制度や価値も異なりますが、台所事情から人々の暮らしが見えてくるのは同じです。

江戸時代の制度・経済から生活・文化まで理解が深まる一冊です。

『夏がいく』

伊多波　碧/作　おとない　ちあき/絵　理論社

913/リロ/24　３階児童

旅籠の跡取り息子の優太。優太の通う寺子屋に新入りした侍の子、清吾。優太の幼馴染のおきく。江戸時代を舞台に、三角関係の恋模様が描かれる…と思いきや、物語は意外な展開に。

話が進むにつれて、それぞれが抱える秘密が明らかになり、終盤の伏線回収が心地よい。

読みやすいので、時代小説が初めてという方にもオススメです。

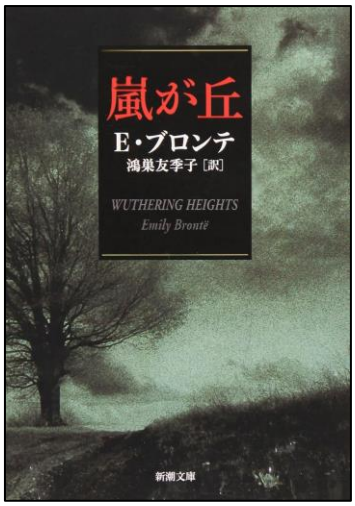
春日井高校図書委員が読んだ本！

今回の紹介者
3年
稲葉 伊緒里さん

『嵐が丘』

エミリー・ブロンテ/著　鴻巣　友季子/訳　新潮社

933.6/ア/25　3階文庫



この小説は、端的にいえば愛憎劇/復讐劇だ。登場人物たちはみな人間らしい弱さを持っており、どこか共感できてしまう。

この物語の面白みは「語りが信用できない」というところにある。主人公ヒースクリフたちが繰り広げた過去の物語の語り手は家政婦であり、さらに我々読者が読む小説はその物語とは無関係の聞き手を介したものだ。そのため、物語には二重に主観や感情のフィルターがかかっているのだ。

登場人物たちの心情を紐解きながら「このシーンはなぜこう語られているのだろう？」と考えながら読むのがオススメの一冊だ。

ボランティアさんのオススメ

読書会・読み聞かせなどで活動中！
アリスの会

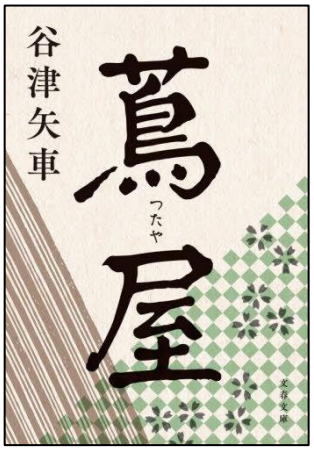
『蔦屋』

谷津　矢車/著　文藝春秋　F/ヤツ/25　3階文庫

本年話題の蔦屋重三郎の後半の人生を、日本橋の元地本問屋の主人・小兵衛との出会いからその死まで、小兵衛の目線で描かれていく。

若かりし喜多川歌麿の存在、山東京伝、太田南畝、そして恋川春町らとの交流は興味深い。老中・松平定信の質素倹約令による締め付けで、武士である作家達が次々と離れていく様子や、春町のくだりは理不尽で悲しい。

いつの時代もままならないことが沢山ある中で、新しいものを生み出す意欲、あきらめていく人、突き進み華々しく命を燃やす人。 一矢報いてやろうという人の生き様は、清々しく、そして切なく、熱いものを感じる。



名　作

たからばこ

中高生の皆さんにぜひ
読んでほしい名作をご紹介！

『黒猫』

エドガー・アラン・ポー/著
斎藤　寿葉/訳　まくらくらま/絵　立東舎
933.6/ク/24

私達の飼っている動物の中で一番のお気に入りは黒猫のプルートー。
ある日、私は引っかき傷を付けられた事に怒り、猫の片眼をナイフで切り取ります。そして首に縄をかけ、木から吊るして殺害しました。その晩、家が火事になり、焼け残った白壁には、首に縄が巻き付いている猫の姿が浮かび上がります。その後、私はプルートーに似た片眼の無い黒猫を見つけ、飼うことにしました。暫くすると、私はその猫に恐怖を感じ始め…。

ティーンズコーナーで待ってます！

「〇〇について調べたい！」「△△の本はどこ？」など、
本に関する相談や探し物は職員に気軽に聞いてみてね。

ティーンズコーナーは、中高生（ティーンズ）世代向けに、さまざまなジャンルの本を集めたコーナーです。図書館３階の北側自動ドアから入り、まっすぐ進んだ先の左側の本棚にあります。
看板が目印です！！
悩み解決のヒントになる本、知識を深める本、趣味を広げる本など、児童書よりもステップアップした内容のものや、10代の皆さんにおすすめの読み物を用意しています。

書のまち春日井「道風くん」

発行：春日井市図書館
愛知県春日井市鳥居松町5-44　TEL(0568)85-6800
https://www.kasugai-lib.jp/

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。